



# あなたと博物館

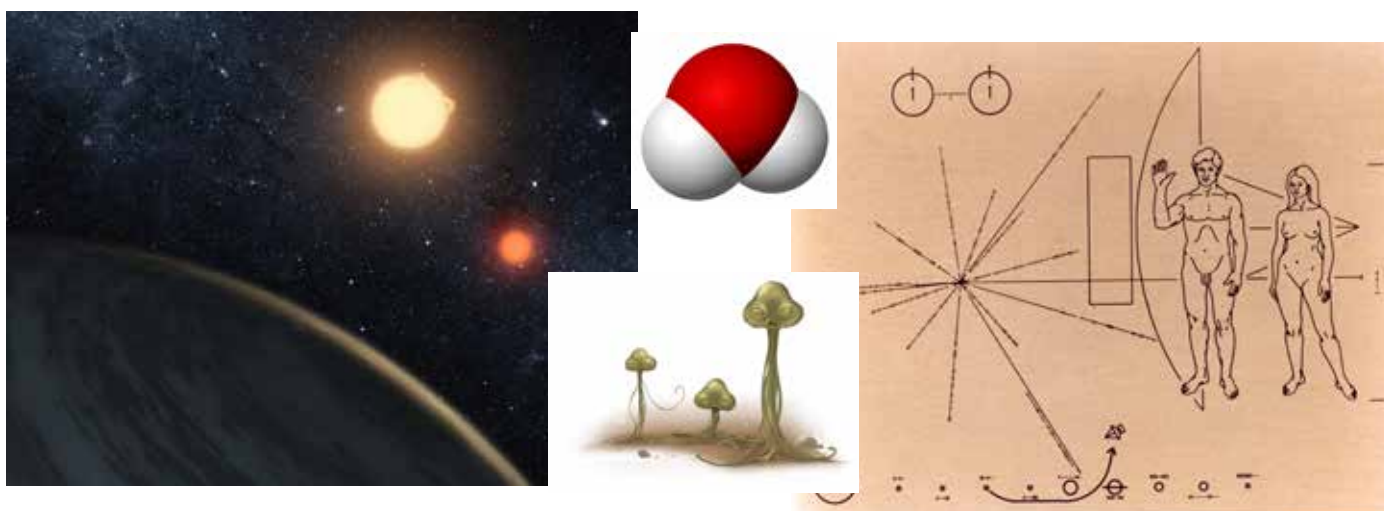
HIRATSUKA CITY MUSEUM

2014.8月号

夏期特別展

# ぼくたちは ひとりぼっち？

## 地球の外に生命を探して



ぼくたちはひとりぼっち？ …この問いは、この広い宇宙に“ぼくたち”＝“地球の全生物”以外の生命が存在するのか？ ということです。…地球外生命を探すことは私たち自身について考えることにつながるのです。

### ■ 8月以降の関連事業

#### 特別展展示解説

日時：8月5日(火)、8日(金) 午後4時～  
8月23日(土)、9月7日(日) 午後3時～  
会場：博物館1階 特別展示室

#### 連続講座「アストロバイオロジー入門」

##### 第2回「太陽系に生命を探る」

日時：8月2日(土) 午後3時30分～午後5時  
講師：塚田 健(平塚市博物館学芸員)  
会場：博物館1階 講堂 参加自由

##### 第3回「太陽系外に惑星を探す」

日時：8月3日(日) 午後3時30分～午後5時  
講師：塚田 健(平塚市博物館学芸員)  
会場：博物館1階 講堂 参加自由

#### 講演会「アルマ望遠鏡で見つめる星と惑星の誕生」

日時：8月16日(土) 午後3時30分～午後5時  
講師：平松正顕氏(国立天文台) 会場：博物館1階 講堂 参加自由

#### 講演会「すばるや TMT で探る太陽系外惑星」

日時：8月24日(日) 午後3時30分～午後5時  
講師：成田憲保氏(国立天文台) 会場：博物館1階 講堂 参加自由

#### 講演会「紙と鉛筆とコンピュータで探る惑星の作り方」

日時：8月30日(土) 午後3時30分～午後5時  
講師：武藤恭之氏(工学院大学) 会場：博物館1階 講堂 参加自由

#### 講演会「生命の誕生と絶滅 ―宇宙と地球の中で生命を考える―」

日時：8月9日(土) 午後5時30分～午後7時  
講師：藤岡換太郎氏(神奈川大学)、ファシリテーター：萱場うい子氏(海洋研究開発機構)  
会場：講堂 参加自由

開館時間延長！

# 夏のイブニング・ミュージアム・ウィーク

8月5日（火）～10日（日）は入館時間を18時30分まで、開館時間を19時まで延長し、毎イベントを開催します。夕涼みがてら、ぜひお越しください。どの行事も参加自由で、定員のある行事は先着順です。

☆8月5日（火）

17:30～18:30 「飛鳥びとの宇宙」 会場：講堂 定員：50名  
内容：日本人の心に受けつがれる古代人の宇宙観の話

☆8月6日（水）

17:30～18:30 「コウモリの声を聞こう！」 —博物館でコウモリ観察— 会場：講堂 定員：30名  
内容：専用の機械を使ってコウモリの鳴き声を聞きます。

☆8月7日（木）

17:30～18:30 太陽と星の昔ばなしと紙芝居 会場：相模の家 定員：30名  
内容：前半は昔ばなし、後半は宮沢賢治作『よだかの星』などの紙芝居を演じます。

☆8月8日（金）

17:30～18:30 いろいろな虹を見てみよう —光を虹に分ける道具・分光器を工作！— 会場：講堂 定員：30名  
内容：光を虹に分ける道具・分光器を工作して、いろいろな光を観察します。

☆8月9日（土）

17:30～19:00 生命の誕生と絶滅 —宇宙と地球の中で生命を考える— 会場：講堂 定員：50名  
講師：藤岡換太郎氏（神奈川大学） ファシリテーター：萱場うい子氏（JAMSTEC）  
内容：宇宙の歴史の中で、生命はどのようにして誕生したのか。生命の存在する可能性のある天体、

☆8月10日（日）

地球上の生命誕生の時間と空間について考え、生命の2つの大量絶滅事件の原因に迫ります。  
17:30～18:30 天道・天命・人道 —二宮尊徳の思想を考える— 会場：講堂 定員：50名  
内容：人と自然、社会の関係を考えた江戸時代の知性の話。

☆8月6日（水）・7日（木）・9日（土）・10日（日）

16:00～16:50 プラネタリウム特別投影「エターナル・リターン」 会場：プラネタリウム室 定員：70名  
観覧料：200円（18歳未満・65歳以上無料）

博物館・美術館・中央図書館  
3館コラボレーション企画

## 絵本で読む宇宙

美術館の特別展に合わせて天文・宇宙の絵本を展示して紹介し、自由に閲覧できるようにします。

会期：7月24日（木）～8月31日（日）

時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

※8月5日（火）～8月10日（日）は19時まで開館延長

会場：博物館1階 寄贈品コーナー前



### 関連行事

#### 「もっと天文絵本を楽しもう」

天文の絵本の読み聞かせと、その本に関係するかんたん工作、または宇宙シミュレーターをつかった宇宙のお話をします。

場所：博物館1階 寄贈品コーナー前  
時間：毎週木曜日午後1時～午後1時30分

#### <読む絵本>

8/7（木）『星の使者 ガリレオ・ガリレイ』  
8/14（木）『あ、流れ星！』  
8/21（木）『ぼくのいまいるところ』  
8/28（木）『ねえ、おつきさま どうしてぼくについてくるの』

雑貨団シアトリカル・プラネタリウム mission30

# ディスカバ〜る!

<公演概要>

## 雑貨団 シアトリカルプラネタリウム Vol.30 「ディスカバ〜る！」

○日時：2014年8月29日(金) ①14時30分～ ②18時30分～ (開場は各30分前)

○申込：8月5日(火) 午前10時より電話にて受付、先着順

○料金：200円(18歳未満および65歳以上は無料) ○定員：60人

※ シアトリカル・プラネタリウムは、演劇を中心とした作品です。通常のプラネタリウム投影とは異なります。

<ものがたり>

宇宙飛行士の学校で、秘密に超能力者を育てるクラス「E組」。

その生徒たちの前に、突然宇宙人が現れた!?

超能力者と宇宙人の出会いだけでも大変なのに、

更に幼なじみの記者やら、宇宙人研究者やら、変な博士までやってきて、

事件はどんどんおかしな方向に…。

宇宙人、超能力、そして、私たちって何?

さあ、彼らは真実をディスカバ〜る(発見する)ことは果たしてできるのかしら!?

「ウチュウ」+「ドラマ」をコンセプトに演劇、映像、音楽やダンス、そしてプラネタリウムが一体となったオリジナルアート「シアトリカル・プラネタリウム」。第30作目は、ずばり「宇宙人」がテーマ。生存可能領域「ハビタブルゾーン」を扱った mission22「ハビタブル!」の続編とも言える作品です。

# みどり色の器

## 古代平塚の緑釉陶器

8月21日(木)～9月3日(水) 平塚市博物館・平塚市社会教育課 共催

緑釉陶器(りよくゆうとうぎ)は、主に9世紀～11世紀前半頃まで日本で生産され、流通した陶器で、鉛を主体とした釉薬が掛けられていることから、淡緑から濃緑に発色していることが特徴です。

緑釉を掛けた焼き物自体は、7世紀後半の棺台や、8世紀の瓦などがありますが、本格的に陶器を焼き始めたのは9世紀の頃からで、当時の都であった京都周辺(洛北、洛西)が早く、更に愛知県猿投(さなげ)窯や尾北窯、東三河地方の二川窯、岐阜県東濃地方、滋賀県近江地方、山口県長門窯などが知られています。一般の土師器、須恵器などの焼き物と比べて高級な焼き物で、特に猿投窯で焼かれたものは優品が知られ、京都府京都市の冷泉院では猿投窯産の優品が出土しています。こうした高級な陶器であることから、当時の都である京都や、福岡県太宰府の周辺で多量に出土することが知られ、関東での出土は比較的少ないとされてきました。

しかし、平塚市では特に国府のあった四之宮周辺で古くから緑釉陶器が多く出土することが知られ、近年行われた湘南新道に伴う発掘調査では、全国的にも有数の出土量を誇る事が明らかにされました。出土した緑釉陶器の大半が愛知県猿投窯産であることがわかっていますが、こうした大量の緑釉陶器がなぜ平塚市にもたらされたのでしょうか。この理由については最近、奈良国立文化財研究所の尾野善裕先生が新説を発表され、8月30日に行われる「第3回平塚市遺跡調査・研究発表会」で講演をお願いしているため、お話を聞いてみてください。

この展示会では、市内から出土した緑釉陶器のほんの一部ですが、ぜひ一見され、平安時代の「華」に思いをはせていただきたいと思います。

第3回平塚市遺跡調査・研究発表会

日時：平成26年8月30日(土) 11:00～16:50

会場：平塚市教育会館 3階 大会議室

参加：参加自由 入場無料

Calendar table for August (8月) with columns for date, day of the week, event name, and location. Includes events like '聞き書きの会', '古文書講読会', and '国際科学映像祭'.

寄贈品コーナー「平塚空襲展」(7/16〜8/17) プラネタリウム一般投影「バンデカンブの夢」(8/31) 夏期特別展「ぼくたちはひとりぼっち」(7/19〜9/7) 寄贈品コーナー「みどり色の器」(8/21〜9/3)

Calendar table for September (9月) with columns for date, day of the week, event name, and location. Includes events like '博物館実習', '民俗探訪会', and '展示解説ボランティアの会'.

【寄贈品コーナー】 ◎「平塚空襲展」 ◎「みどり色の器 - 古代平塚の緑釉陶器 -」 会期: ~8月17日(日) 会期: 8月21日(木)~9月3日(水) 【情報コーナー】 ◎「ポスト特別展 水と生きる里 金目の風土とその魅力」 会期: ~9月4日(木) 【申し込み制の行事】 特別展開連行事は1ページを参照 ◎雑貨団シアトルカル・プラネタリウム「ディスカバー!」3ページ参照 ◎自然教室「夕方の鳥をみよう」内容: 水辺の鳥を中心に観察します。日時: 8月23日(土) 午後3時30分~5時30分 場所: 金目川(高麗大橋~平塚大橋) 講師: こまたん 申込: 往復はがきに住所・氏名・電話番号を記入し、8月12日(火) 消印有効で申込。定員: 15名(小学生以下は保護者同伴・応募者多数の場合は抽選) 【自由参加の行事】 特別展開連行事は1ページを参照 ◎夏の自然観察さんぽ会 場所: 博物館周辺(博物館受付 集合) 日時: 8月2日(土) 午後1時10分~午後1時40分 ◎星を見る会「七夏の星を見よう」場所: 科学教室・屋上 日時: 8月2日(土) 午後7時~午後8時30分 ◎ろばたばなし 場所: 相模の家 日時: 8月17日(日) (1)午後1時20分 (2)午後3時 ◎星を見る会「夏の星を見よう」場所: 科学教室・屋上 日時: 8月21日(木) 午後7時~午後8時30分 ◎記念講演会「きのこの話~新種ってなあに?」 日時: 8月31日(日) 午後1時~午後3時 場所: 博物館1階 講堂 講師: 牛島秀爾氏・城川四郎氏 定員: 50人 【プラネタリウム】 観覧料: 200円(18歳未満・65歳以上無料) ☆プラネタリウム一般向け番組「バンデカンブの夢」 投影日: ~8月31日(日)の土・日曜日 時間: 午前11時、午後2時 ※8月以降の第2・第4土曜11時の回を除く ☆プラネタリウム幼児向け投影「ちきゅうをさがせ」(未就学児向け) 投影日: 8月9日(土)、8月23日(土) 投影時間: 午前11時 ☆星空と音楽の夕べ「月のひかり」投影日: 8月17日(日) 午後4時 ☆プラネタリウム投影日 ○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

夏期特別展(9/7) 緑色の器 情報コーナー「富士山と宇宙」(9/6〜11/30) プラネタリウム一般投影「幻の流星群を追って」(9/6〜10/26) 寄贈品コーナー「博物館実習生制作展示(内容未定)」(9/12〜9/28)